

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-322265

(P2006-322265A)

(43) 公開日 平成18年11月30日(2006.11.30)

(51) Int. Cl.

E 0 4 B 1/62 (2006.01)

F I

E 0 4 B 1/62

B

テーマコード (参考)

2 E 0 0 1

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 19 頁)

(21) 出願番号 特願2005-148137 (P2005-148137)
 (22) 出願日 平成17年5月20日 (2005.5.20)
 (31) 優先権主張番号 特願2005-123374 (P2005-123374)
 (32) 優先日 平成17年4月21日 (2005.4.21)
 (33) 優先権主張国 日本国 (JP)

(71) 出願人 000110365
 ドーエイ外装有限会社
 三重県桑名市大字大福338番地
 (74) 代理人 100080838
 弁理士 三浦 光康
 (72) 発明者 後藤 英夫
 三重県桑名市西別所1200-169
 Fターム(参考) 2E001 DH31 FA11 GA12 GA55 HB01
 LA18 PA05 PA07

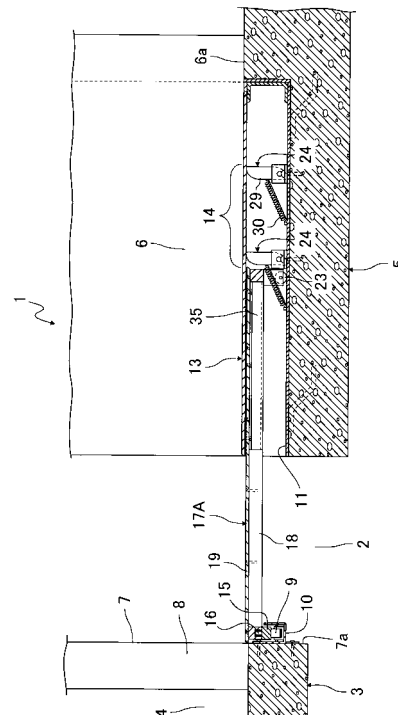
(54) 【発明の名称】 床用目地装置

(57) 【要約】

【課題】 本発明は目地プレートの移動量を大きく設定してもカバープレートが撓んだりするのを効率よく防止でき、安全に使用することができるとともに、左右の建物が曲がるように揺れ動いても、損傷することなく、その揺れ動きを吸収することができる床用目地装置を

【解決手段】 一方の建物の通路の外壁面に形成された開口部の下部位置に設置されたガイドレールと、このガイドレールに沿ってスライド移動可能に後端部が取付けられ、先端部が目地部を介して設けられた他方の建物の通路の床面にスライド移動可能に支持された目地プレートと、この目地プレートの先端部の左右方向のスライド移動を可能に、他方の建物の躯体に取付けられたカバープレートを備える床用目地装置において、目地プレートを左右方向にスライド移動できる係合部で係合させた複数の分割目地プレートと、この複数の分割目地プレートの後端部のほぼ中央部を枢支ピンを介して取付けられたガイドレールに沿って移動するスライダーとで床用目地装置を構成している。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一方の建物の通路の外壁面に形成された開口部の下部位置の躯体にほぼ水平方向に設置されたガイドレールと、このガイドレールに沿ってスライド移動可能に後端部が取付けられ、先端部が目地部を介して設けられた他方の建物の通路の床面にスライド移動可能に支持された目地プレートと、この目地プレートの先端部の左右方向のスライド移動を可能に、前記他方の建物の通路を構成する躯体に取り付けられたカバープレートを備える床用目地装置において、前記目地プレートを左右方向にスライド移動できる係合部で係合させた複数個の分割目地プレートと、この複数個の分割目地プレートの後端部のほぼ中央部を枢支ピンを介して取付けられたガイドレールに沿って移動するスライダーとで構成したことを特徴とする床用目地装置。 10

【請求項 2】

一方の建物の通路の外壁面に形成された開口部の下部位置の躯体にほぼ水平方向に設置されたガイドレールと、このガイドレールに沿ってスライド移動可能に後端部が取付けられ、先端部が目地部を介して設けられた他方の建物の通路の床面にスライド移動可能に支持された目地プレートと、この目地プレートの先端部の左右方向のスライド移動を可能に、前記他方の建物の通路を構成する躯体に取り付けられたカバープレートを備える床用目地装置において、前記目地プレートを左右方向にスライド移動できる係合部で係合させた複数個の分割目地プレートと、この複数個の分割目地プレートの後端部のほぼ中央部を枢支ピンを介して取付けられたガイドレールに沿って移動するスライダーとで構成するとともに、通常時には目地プレートの先端部が位置しない前記カバープレートの下部に、該カバープレートを支持できるように他方の建物の通路の床面に取付けられた回動可能な支持片と、この支持片を常時カバープレートを支持するように立設状態に位置させる付勢機構とからなる支持具を複数個配置したカバープレート支持機構を備えたことを特徴とする床用目地装置。 20

【請求項 3】

一方の建物の通路の外壁面に形成された開口部の下部位置の躯体にほぼ水平方向に設置されたガイドレールと、このガイドレールに沿ってスライド移動可能に後端部が取付けられ、先端部が目地部を介して設けられた他方の建物の通路の床面にスライド移動可能に支持された目地プレートとを備える床用目地装置において、前記目地プレートを左右方向にスライド移動できる係合部で係合させた複数個の分割目地プレートと、この複数個の分割目地プレートの後端部のほぼ中央部を枢支ピンを介して取付けられたガイドレールに沿って移動するスライダーとで構成したことを特徴とする床用目地装置。 30

【請求項 4】

一方の建物の通路の外壁面に形成された開口部の下部位置の躯体にほぼ水平方向に設置されたガイドレールと、このガイドレールに沿ってスライド移動可能に後端部が取付けられ、先端部が目地部を介して設けられた他方の建物の通路の床面にスライド移動可能に支持された目地プレートと、この目地プレートの先端部の左右方向のスライド移動を可能に、前記他方の建物の通路を構成する躯体に取り付けられたカバープレートを備える床用目地装置において、通常時には目地プレートの先端部が位置しない前記カバープレートの下部に、該カバープレートを支持できるように他方の建物の通路の床面に取付けられた回動可能な支持片と、この支持片を常時カバープレートを支持するように立設状態に位置させる付勢機構とからなる支持具を複数個配置したカバープレート支持機構を備えたことを特徴とする床用目地装置。 40

【請求項 5】

一方の建物の通路の外壁面に形成された開口部の下部位置の躯体に後端部が取付けられ、先端部が目地部を介して設けられた他方の建物の通路の床面にスライド移動可能に支持された目地プレートと、この目地プレートの先端部の左右方向のスライド移動を可能に、前記他方の建物の通路を構成する躯体に取り付けられたカバープレートを備える床用目地装置において、通常時には目地プレートの先端部が位置しない前記カバープレートの下部に、 50

該カバープレートを支持できるように他方の建物の通路の床面に取付けられた回動可能な支持片と、この支持片を常時カバープレートを支持するように立設状態に位置させる付勢機構とからなる支持具を複数個配置したカバープレート支持機構を備えたことを特徴とする床用目地装置。

【請求項 6】

カバープレート支持機構の支持片のカバープレートと当接する部位にはローラーが設置されていることを特徴とする請求項 2、4、5 いずれかに記載の床用目地装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

10

本発明は目地部を介して設けられた左右の建物の通路を連通させる床用目地装置に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、この種の床用目地装置は一方の建物の外部通路の外壁に形成された渡り通路用開口部の両側部を覆い、かつ両側方向にスライド移動可能に該外壁に取付けられた外部通路側スライド側壁と、この外部通路側スライド側壁の開口端部側に一端部が固定的あるいは回動可能に取付けられ、他端部が前記渡り通路用開口部と目地部を介して連通するように、他方の建物より突出するように設けられた渡り通路の両側にスライド移動可能に取付けられた渡り通路側スライド側壁と、一端部が前記渡り通路の床面にスライド移動可能に支持され、他端部が前記外部通路の床面にスライド移動可能に支持された目地プレートと、一端部が前記外部通路側スライド側壁のほぼ中央部に左右方向に回動可能に枢支され、他端部が前記渡り通路の床面ほぼ中央に前後方向にスライド移動可能に取付けられた作動軸と、一端が前記外部通路側スライド側壁に取付けられ、他端が前記渡り通路の床面に取付けられた中央部の枢支ピンで前記目地プレートのほぼ中央部を回動可能に枢支する目地プレートを常時ほぼ中央部に位置させることができる中央維持機構とで構成されている。

20

【0003】

このように構成された床用目地装置は構造が複雑で、コスト高になるとともに、目地プレートの移動量を大きく設定するとカバープレートが大きくなり、該カバープレートの剛性を高めなければならないという欠点があった。

30

【特許文献 1】特許 3 1 5 4 9 5 7 号

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本発明は以上のような従来欠点に鑑み、目地プレートの移動量を大きく設定してもカバープレートが撓んだりするのを効率よく防止でき、安全に使用することができるとともに、左右の建物が曲がるように揺れ動いても、損傷することなく、その揺れ動きを吸収することができる床用目地装置を提供することを目的としている。

【0005】

本発明の前記ならびにそのほかの目的と新規な特徴は次の説明を添付図面と照らし合わせて読むと、より完全に明らかになるであろう。

40

ただし、図面はもっぱら解説のためのものであって、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記目的を達成するために、本発明は一方の建物の通路の外壁面に形成された開口部の下部位置の躯体にほぼ水平方向に設置されたガイドレールと、このガイドレールに沿ってスライド移動可能に後端部が取付けられ、先端部が目地部を介して設けられた他方の建物の通路の床面にスライド移動可能に支持された目地プレートと、この目地プレートの先端部の左右方向のスライド移動を可能に、前記他方の建物の通路を構成する躯体に取付けられ

50

たカバープレートを用意する床用目地装置において、前記目地プレートを左右方向にスライド移動できる係合部で係合させた複数個の分割目地プレートと、この複数個の分割目地プレートの後端部のほぼ中央部を枢支ピンを介して取付けられたガイドレールに沿って移動するスライダーとで床用目地装置を構成している。

【発明の効果】

【0007】

以上の説明から明らかなように、本発明にあっては次に列挙する効果が得られる。

【0008】

(1) 一方の建物の通路の外壁面に形成された開口部の下部位置の躯体にほぼ水平方向に設置されたガイドレールと、このガイドレールに沿ってスライド移動可能に後端部が取付けられ、先端部が目地部を介して設けられた他方の建物の通路の床面にスライド移動可能に支持された目地プレートと、この目地プレートの先端部の左右方向のスライド移動を可能に、前記他方の建物の通路を構成する躯体に取付けられたカバープレートを備える床用目地装置において、前記目地プレートを左右方向にスライド移動できる係合部で係合させた複数個の分割目地プレートと、この複数個の分割目地プレートの後端部のほぼ中央部を枢支ピンを介して取付けられたガイドレールに沿って移動するスライダーとで構成されているので、複数個の分割目地プレートが枢支ピンを支点として回動させることができる。

10

したがって、異なる前後方向の揺れ動きが生じた場合、スライダーの前後方向の移動はもちろんのこと、複数個の分割目地プレートの回動によって、その揺れ動きを確実に吸収することができる。

20

【0009】

(2) 前記(1)によって、複数個の分割目地プレートにしているので、現場で組立てることができる。輸送や設置作業が1個の部品が小型軽量化され、容易に行なうことができる。

【0010】

(3) 前記(1)によって、複数個の分割目地プレートは左右方向にスライド移動できる係合部で係合されているので、該係合部によって複数個の分割目地プレートの剛性を高めることができる。

【0011】

(4) 請求項2は前記(1)～(3)と同様な効果が得られるとともに、大きな寸法のカバープレートを用いても、複数個の支持片によってカバープレートに荷重が加わっても、撓むのを効率よく阻止することができ、目地部が狭くなった場合に複数個の支持片を目地プレートの移動によって、該目地プレートの下部へもぐり込ませて目地プレートの移動のじゃまを防止することができる。

30

【0012】

(5) 前記(4)によって、複数個の支持片は他方の建物の通路の床面に取付けられているので、移動することなく常にカバープレートを最適状態で支持できる位置に設定することができる。

【0013】

(6) 請求項3は前記(1)～(3)と同様な効果が得られる。

40

【0014】

(7) 請求項4は前記(4)、(5)と同様な効果が得られる。

【0015】

(8) 請求項5は前記(4)、(5)と同様な効果が得られるとともに、カバープレート支持機構の支持片のローラーによって、カバープレートと当接した状態で、支持片をスムーズに移動させることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0016】

以下、図面に示す本発明を実施するための最良の形態より、本発明を詳細に説明する。

【0017】

50

図 1 ないし図 10 に示す本発明を実施するための最良の第 1 の形態において、1 は目地部 2 を介して設けられた一方の建物 3 の通路 4 と、他方の建物 5 の通路 6 とを連通させる、渡り通路と称される部位に設置される本発明の床用目地装置で、この床用目地装置 1 は前記一方の建物 3 の通路 4 の外壁面 7 に形成された開口部 8 の下部位置の躯体 7 a にほぼ水平方向に設置された内底面に所定間隔で複数個のローラ 9 が備えられたガイドレール 10 と、このガイドレール 10 に沿ってスライド移動可能に後端部が取付けられ、先端部が前記他方の建物 5 の目地部 2 側の通路 6 の床面 6 a に形成された凹部 11 にスライド移動可能に支持される目地プレート 12 と、この目地プレート 12 の先端部の左右方向のスライド移動を可能に、前記凹部 11 を覆うように前記他方の建物 5 の通路 6 を構成する躯体 6 a に取付けられたカバープレート 13 と、このカバープレート 13 に加わる荷重によって撓むのを防止する、前記凹部 11 に取付けられたカバープレート支持機構 14 とで構成されている。

【0018】

前記目地プレート 12 は前記ガイドレール 10 に沿ってスライド移動するスライダ 15 と、このスライダ 15 の上方へ突出するように固定された複数個、本発明を実施する形態では 3 個の枢支ピン 16、16、16 と、この 3 個の枢支ピン 16、16、16 に両端部に位置するものが遊びを介して後端部が枢支される左右方向にスライド移動可能な 3 個の分割目地プレート 17、17 A、17 B とからなり、該 3 個の分割目地プレート 17、17 A、17 B は長方形のフレーム 18、18、18 と、このフレーム 18、18、18 の上面を覆うカバー板 19、19、19 と、このカバー板 19、19、19 の隣り合う部位に一体形成された左右方向にスライド移動可能に係合し、前後方向に遊び用の空間 20、20 が設定されるアングル状の係合片 21、22、21、22 と、前記フレーム 18、18、18 の先端部の両側面にそれぞれ取付けられるローラ 23、23 と、前記カバー板 19、19、19 の後端部をのぞく底面ほぼ中央部にフレーム 18、18、18 との段差が生じるのを防止するために固定されたハット型鋼形状のガイド板 35、35、35 とで構成されている。

【0019】

前記カバープレート支持機構 14 は前記分割目地プレート 17、17 A、17 B の先端部の凹部 11 内で、該分割目地プレート 17、17 A、17 B に取付けられたローラ 23、23 と当接しない所定部位に 2 列で配置された複数個の支持具 24 で構成されたもので、該複数個の支持具 24 は前記凹部 11 の躯体 6 a に固定される取付金具 25 と、この取付金具 25 に下端部が枢支ピン 26 で回動可能に枢支された、上部前面と下部背面が傾斜面 27、28 に形成された支持片 29 と、この支持片 29 を常時立設状態に位置するように付勢する付勢スプリング 30 とで構成されている。

【0020】

上記構成の床用目地装置 1 は通常時には複数個の分割目地プレート 17、17 A、17 B の先端部の凹部 11 内に 2 列で配置された複数個の支持具 24 の支持片 29 でカバープレート 13 を支持しているため、該カバープレート 13 に荷重が加わってもカバープレート 13 が撓んだりするのが防止される。

【0021】

地震等によって一方の建物 3 と他方の建物 5 が異なる左右方向に揺れ動いて目地部 2 が広がるように動くと、図 7 に示すように複数個の分割目地プレート 17、17 A、17 B の先端部のローラ 23、23 が凹部 11 上を転がり、複数個の分割目地プレート 17、17 A、17 B がカバープレート 13 より突出する方向にスライド移動して、その揺れ動きを吸収する。

【0022】

目地部 2 が狭くなるように動くと、図 8 に示すように複数個の分割目地プレート 17、17 A、17 B の先端部が押し込まれた状態となるが、この時、分割目地プレート 17、17 A、17 B の先端部で複数個の支持具 24 の支持片 29 の上部傾斜面 27 部位を押圧して、付勢スプリング 30 の付勢力に抗して回動させて、分割目地プレート 17、17

A、17Bの底面内へ入りこんで、その移動のじゃまをしない。

【0023】

また、分割目地プレート17、17A、17Bが元の状態に戻ると、支持具24の付勢スプリング30の付勢力によって、支持片29を立設状態に位置させてカバープレート13を支持する。

【0024】

異なる前後方向へ揺れ動いた場合には、図9に示すように複数個の分割目地プレート17、17A、17Bの後端部のスライダ15がガイドレール10に沿ってスライド移動して、その揺れ動きを吸収する。

また、異なる前後方向でかつ前後部の幅寸法が異なるように揺れ動いた場合には、図10に示すようにスライダ15がガイドレール10に沿ってスライド移動するとともに、スライダ15の枢支ピン16、16、16を支点として複数個の分割目地プレート17、17A、17Bが回動して、その揺れ動きを吸収する。この時、複数個の分割目地プレート17、17A、17B間の遊び用の空間20、20によって、図10に示すように複数個の分割目地プレート17、17A、17Bのスライド移動と回動とがスムーズで、ガイドレール10や複数個の分割目地プレート17、17A、17Bに必要以上の負荷がかかるのを阻止することができる。

[発明を実施するための異なる形態]

【0025】

次に、図11ないし図39に示す本発明を実施するための異なる形態につき説明する。なお、これらの本発明を実施するための異なる形態の説明に当って、前記本発明を実施するための最良の第1の形態と同一構成部分には同一符号を付して重複する説明を省略する。

【0026】

図11ないし図13に示す本発明を実施するための第2の形態において、前記本発明を実施するための最良の第1の形態と主に異なる点は、同じ左右方向に位置する支持片29、29の上部に枢支ピン31、31でチャンネル状の支持バー32を枢支した複数個の支持具24Aを使用するカバープレート支持機構14Aを用いた点で、このようなカバープレート支持機構14Aを用いて構成した床用目地装置1Aにしても、前記本発明を実施するための最良の第1の形態と同様な作用効果が得られるとともに、帯状にカバープレート13を支持するため、支持効率を高めることができる。

【0027】

図14ないし図16に示す本発明を実施するための第3の形態において、前記本発明を実施するための最良の第1の形態と主に異なる点は、複数個の分割目地プレート17、17A、17Bの先端部を他方の建物5の通路6の床面上をスライド移動できるように支持させる目地プレート12Aを用いるとともに、反目地部側に傾斜面33が形成されたカバープレート13Aを用いた点で、このように構成した床用目地装置1Bにしても、前記本発明を実施するための最良の第1の形態と同様な作用効果が得られる。

【0028】

図17ないし図19に示す本発明を実施するための第4の形態において、前記本発明を実施するための最良の第1の形態と主に異なる点は、分割しない1枚の大きな目地プレート12Bを用いた点で、このような目地プレート12Bを用いて構成した床用目地装置1Cにしても、カバープレート13の撓みを確実に防止することができる。

【0029】

図20ないし図22に示す本発明を実施するための第5の形態において、前記本発明を実施するための第3の形態と主に異なる点は、複数個の分割目地プレート17、17A、17Bの先端部を傾斜面34、34、34に形成した目地プレート12Cを用い、カバープレートを使用しない構成にした点で、このように構成した床用目地装置1Dにしてもよい。

【0030】

図 2 3 および図 2 4 に示す本発明を実施するための第 6 の形態において、前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と主に異なる点は、他方の建物 5 の目地部 2 側の通路 6 の床面 6 a にスライド板 3 6 を固定し、先端部が該スライド板 3 6 上をスライド移動する厚鉄板で形成した分割目地プレート 1 7 C、1 7 C、1 7 C を用いた点で、このように構成した床用目地装置 1 E にしてもよい。

【 0 0 3 1 】

図 2 5 および図 2 6 に示す本発明を実施するための第 7 の形態において、前記本発明を実施するための第 6 の形態と主に異なる点は、先端部が傾斜面になるようにフレーム 1 8 A の上面をカバー板 1 9 A で覆った分割目地プレート 1 7 D、1 7 D、1 7 D を用いた点で、このように構成した床用目地装置 1 F にしてもよい。

10

【 0 0 3 2 】

図 2 7 および図 2 8 に示す本発明を実施するための第 8 の形態において、前記本発明を実施するための第 6 の形態と主に異なる点は、両端部の分割目地プレート 1 7 D、1 7 D の外側端部にアングル状の手摺板 3 7、3 7 を固定した点で、このように構成した床用目地装置 1 G にしてもよい。

【 0 0 3 3 】

図 2 9 ないし図 3 2 に示す本発明を実施するための第 9 の形態において、前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と主に異なる点は、他方の建物 5 の目地部 2 側へ突出する他方のスラブ 3 8 の上面にスライド板 3 6 を固定し、この他方のスラブ 3 8 の先端部の下部に位置する一方の建物 5 より目地部 2 側へ突出する一方のスラブ 3 9 の上面を覆うように分割目地プレート 1 7、1 7、1 7 を設置し、通常時には前記一方のスラブ 3 9 のほぼ中央部にスライド移動できるように複数個のローラ 4 0 を介して後端部が支持され、先端部が前記他方のスラブ 3 8 のスライド板 3 6 のほぼ中央部に位置する中央目地プレート 4 1 を設置した点で、このように構成した床用目地装置 1 H にしてもよい。

20

【 0 0 3 4 】

図 3 3 および図 3 4 に示す本発明を実施するための第 1 0 の形態において、前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と主に異なる点は、支持片 2 9 の先端部にローラー 4 2 を設置したカバープレート支持機構 1 4 B を用いた点で、このように構成されたカバープレート支持機構 1 4 B を用いた床用目地装置 1 I にしても前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と同様な作用効果が得られるとともに、カバープレート 1 3 を支持しているカバープレート支持機構 1 4 B の支持片 2 9 をスムーズに移動させることができる。

30

なお、本発明の実施の形態は前記本発明を実施するための第 4 の形態にも同様に使用することができる。

【 0 0 3 5 】

図 3 5 および図 3 6 に示す本発明を実施するための第 1 1 の形態において、前記本発明を実施するための第 2 の形態と主に異なる点は、支持片 2 9、2 9 の先端部にローラー 4 2、4 2 を設置したカバープレート支持機構 1 4 C を用いた点で、このように構成されたカバープレート支持機構 1 4 C を用いた床用目地装置 1 J にしても前記本発明を実施するための第 2 の形態と同様な作用効果が得られるとともに、カバープレート 1 3 を支持しているカバープレート支持機構 1 4 C の支持片 2 9、2 9 をスムーズに移動させることができる。

40

なお、本発明の実施の形態は前記本発明を実施するための第 4 の形態にも同様に使用することができる。

【 0 0 3 6 】

図 3 7 ないし図 3 9 に示す本発明を実施するための第 1 2 の形態において、前記本発明を実施するための第 2 の形態と主に異なる点は、目地プレート 1 2 の後端部を一方の建物 3 の通路 4 の外壁面 7 に形成された開口部 8 の下部位置の躯体 7 a に取付けるとともに、先端部の下面を支持具 2 4 A を容易に回動できるように傾斜面 1 2 a に形成した点で、このように構成した床用目地装置 1 K にしても前記本発明を実施するための第 2 の形態と同様な作用効果が得られる。

50

なお、本発明の実施の形態は前記本発明を実施するための第４の形態にも同様に使用することができる。

【００３７】

なお、前記本発明の各実施の形態ではガイドレール１０内に複数のローラ９が取付けられたものについて説明したが、本発明はこれに限らず、ベアリングやスベリ材を設置したものであってもよい。

また、ガイドレール１０には何も設置することなく、スライダ１５の底面にローラ、ベアリング、スベリ材を設置してもよい。また、目地プレートを２分割や３分割以上に分割してもよい。

【産業上の利用可能性】

10

【００３８】

本発明は床用目地装置を製造する産業で利用される。

【図面の簡単な説明】

【００３９】

【図１】本発明を実施するための最良の第１の形態の平面図。

【図２】図１の２－２線に沿う拡大断面図。

【図３】図１の３－３線に沿う拡大断面図。

【図４】本発明を実施するための最良の第１の形態のカバープレートを外した状態の平面図。

【図５】本発明を実施するための最良の第１の形態の目地プレートの説明図。

20

【図６】本発明を実施するための最良の第１の形態の支持具の説明図。

【図７】本発明を実施するための最良の第１の形態の目地部が広がった動作説明図。

【図８】本発明を実施するための最良の第１の形態の目地部が狭くなった動作説明図。

【図９】本発明を実施するための最良の第１の形態の異なる前後方向の動作説明図。

【図１０】本発明を実施するための最良の第１の形態の前後方向の幅が異なる動作説明図。

。 【図１１】本発明を実施するための第２の形態の平面図。

【図１２】図１１の１２－１２線に沿う拡大断面図。

【図１３】本発明を実施するための第２の形態のカバープレートを外した状態の平面図。

【図１４】本発明を実施するための第３の形態の平面図。

30

【図１５】図１４の１５－１５線に沿う拡大断面図。

【図１６】本発明を実施するための第３の形態のカバープレートの説明図。

【図１７】本発明を実施するための第４の形態の平面図。

【図１８】図１７の１８－１８線に沿う拡大断面図。

【図１９】本発明を実施するための第４の形態の目地プレートの説明図。

【図２０】本発明を実施するための第５の形態の平面図。

【図２１】図２０の２１－２１線に沿う拡大断面図。

【図２２】本発明を実施するための第５の形態の目地プレートの説明図。

【図２３】本発明を実施するための第６の形態の平面図。

【図２４】図２３の２４－２４線に沿う拡大断面図。

40

【図２５】本発明を実施するための第７の形態の平面図。

【図２６】図２５の２６－２６線に沿う拡大断面図。

【図２７】本発明を実施するための第８の形態の平面図。

【図２８】図２７の２８－２８線に沿う拡大断面図。

【図２９】本発明を実施するための第９の形態の平面図。

【図３０】図２９の３０－３０線に沿う拡大断面図。

【図３１】本発明を実施するための第９の形態の目地部が広がった動作説明図。

【図３２】本発明を実施するための第９の形態の目地部が狭くなった動作説明図。

【図３３】本発明を実施するための第１０の形態の平面図。

【図３４】図３３の３４－３４線に沿う拡大断面図。

50

【図 3 5】本発明を実施するための第 1 1 の形態の平面図。

【図 3 6】図 3 5 の 3 6 - 3 6 線に沿う拡大断面図。

【図 3 7】本発明を実施するための第 1 2 の形態の平面図。

【図 3 8】図 3 7 の 3 8 - 3 8 線に沿う拡大断面図。

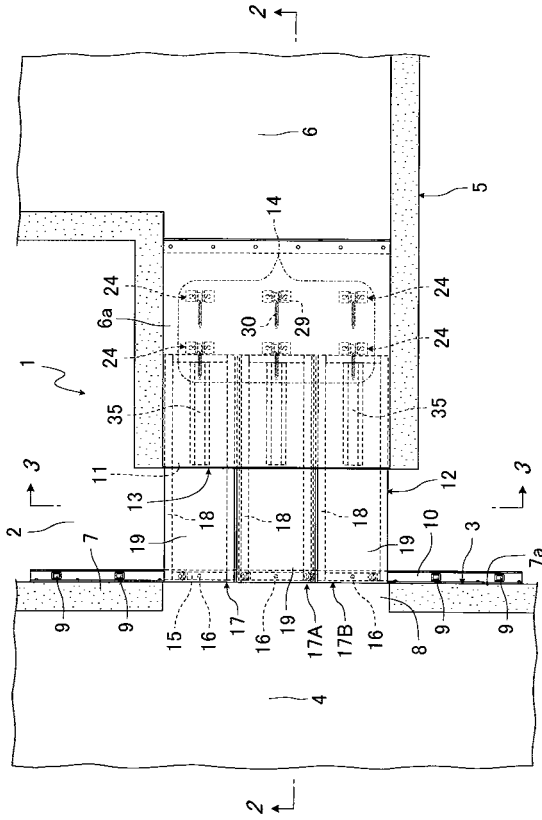
【図 3 9】図 3 7 の 3 9 - 3 9 線に沿う拡大断面図。

【符号の説明】

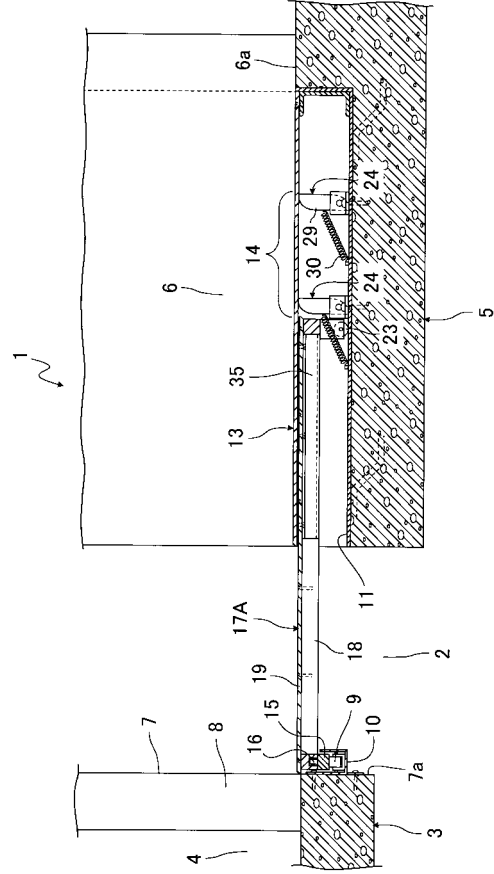
【 0 0 4 0 】

1、1 A ~ 1 K：床用目地装置、		
2：目地部、	3：一方の建物、	
4：通路、	5：他方の建物、	10
6：通路、	7：外壁面、	
8：開口部、	9：ローラ、	
1 0：ガイドレール、	1 1：凹部、	
1 2、1 2 A ~ 1 2 C：目地プレート、		
1 3、1 3 A：カバープレート、		
1 4、1 4 A、1 4 B、1 4 C：カバープレート支持機構、		
1 5：スライダー、	1 6：枢支ピン、	
1 7、1 7 A、1 7 B、1 7 C、1 7 D：分割目地プレート、		
1 8、1 8 A：フレーム、	1 9、1 9 A：カバー板、	
2 0：遊び空間、	2 1、2 2：係合片、	20
2 3：ローラ、	2 4、2 4 A：支持具、	
2 5：取付金具、	2 6：枢支ピン、	
2 7：上部傾斜面、	2 8：下部傾斜面、	
2 9：支持片、	3 0：付勢スプリング、	
3 1：枢支ピン、	3 2：支持バー、	
3 3：傾斜面、	3 4：傾斜面、	
3 5：ガイド板、	3 6：スライド板、	
3 7：手摺板、	3 8：他方のスラブ、	
3 9：一方のスラブ、	4 0：ローラ、	
4 1：中央目地プレート、	4 2：ローラー。	30

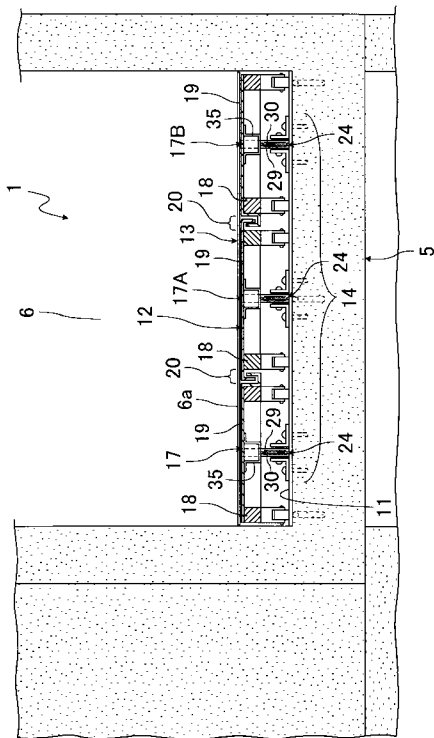
【図 1】



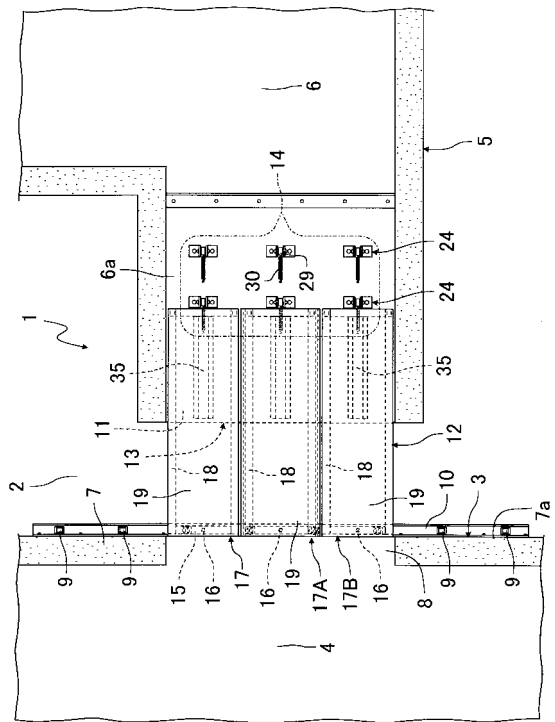
【図 2】



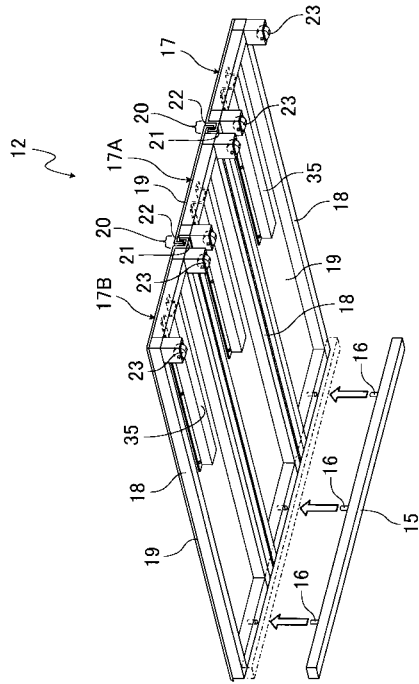
【図 3】



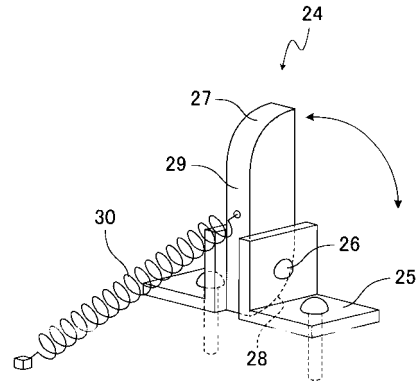
【図 4】



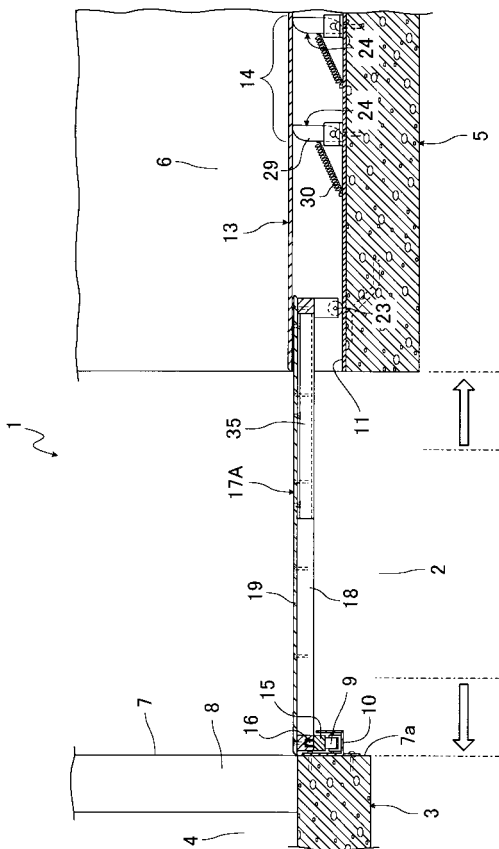
【図 5】



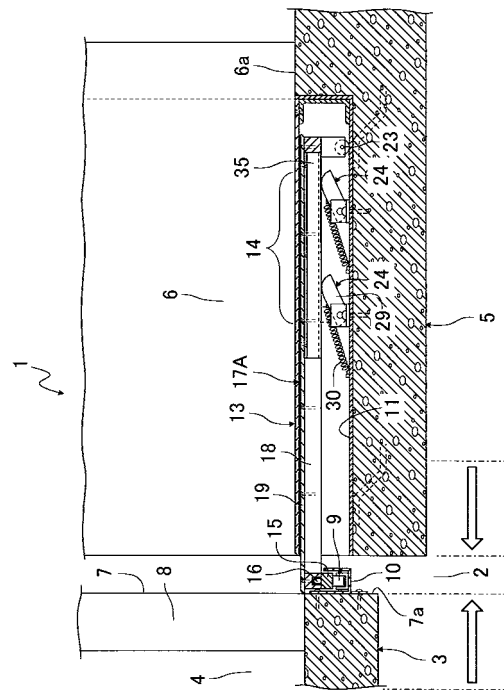
【図 6】



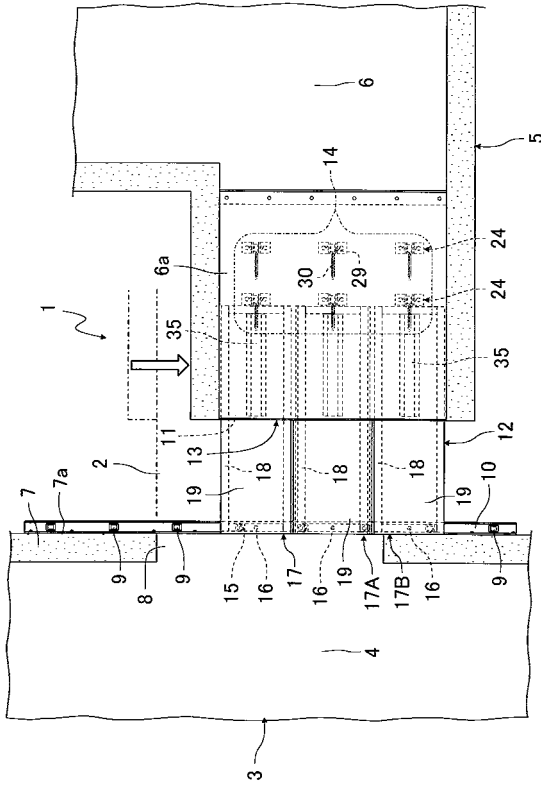
【図 7】



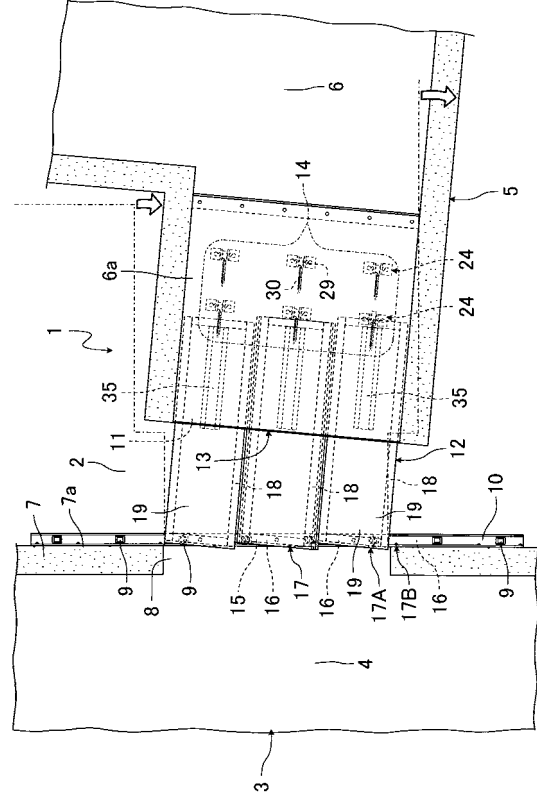
【図 8】



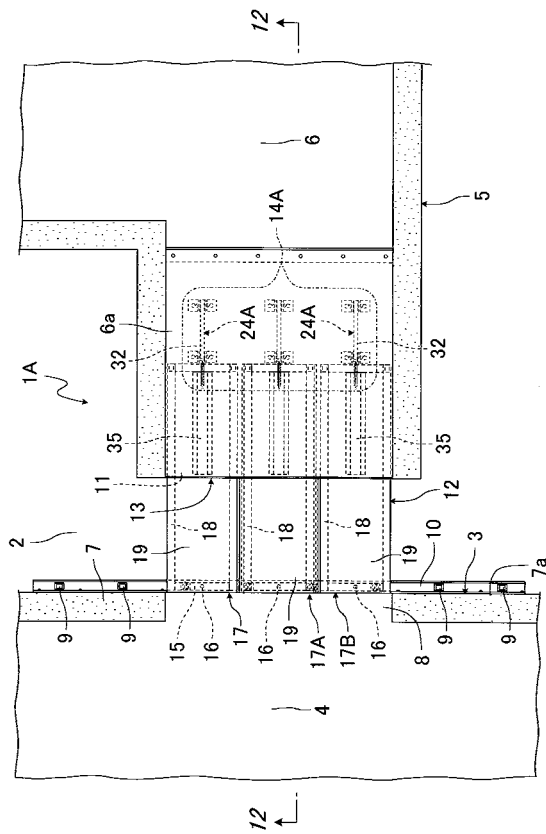
【図 9】



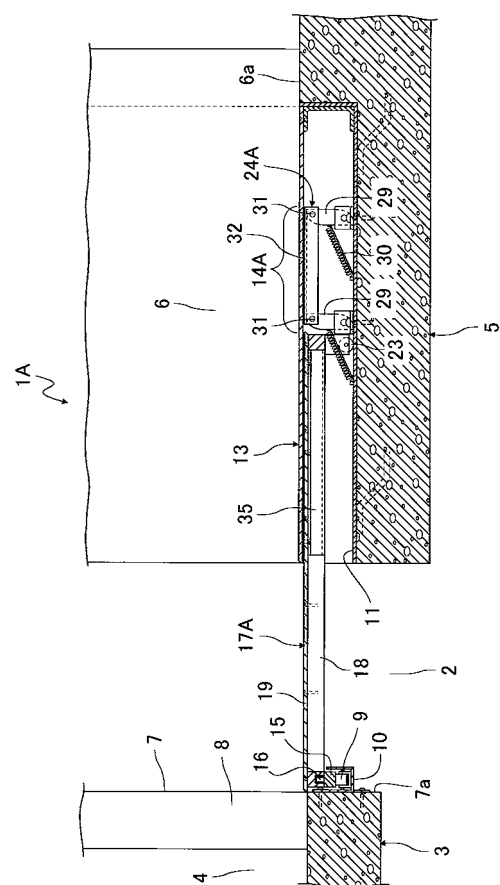
【図 10】



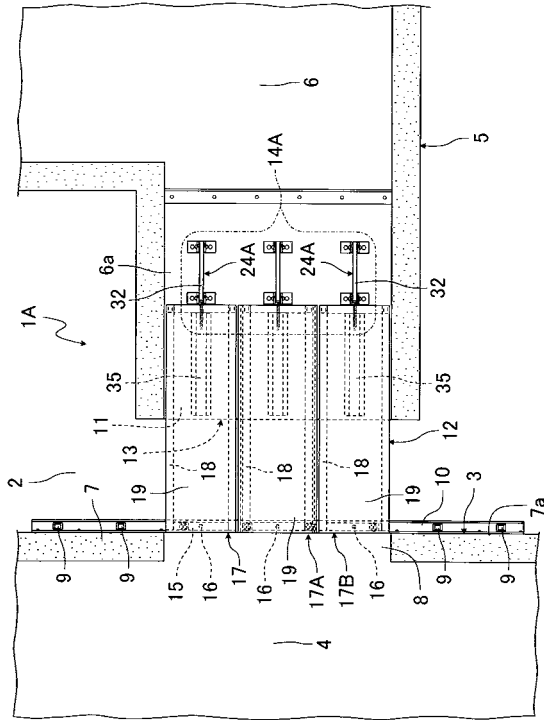
【図 11】



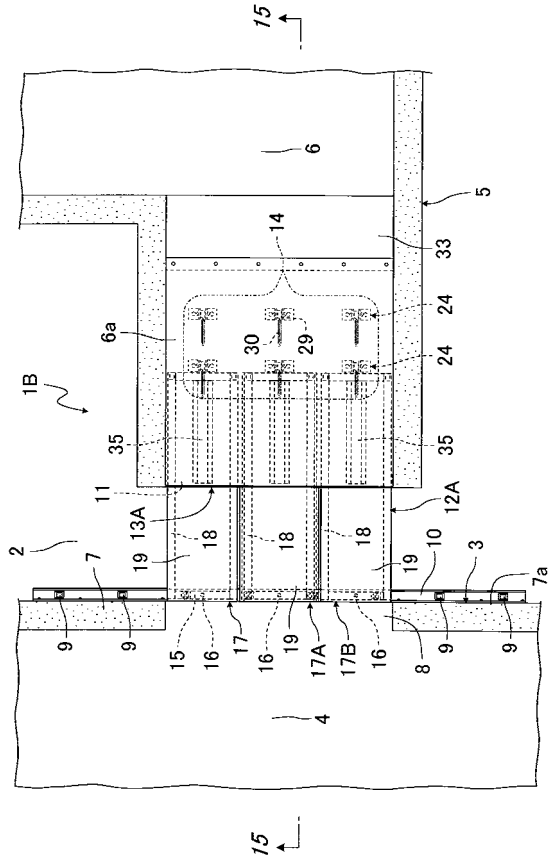
【図 12】



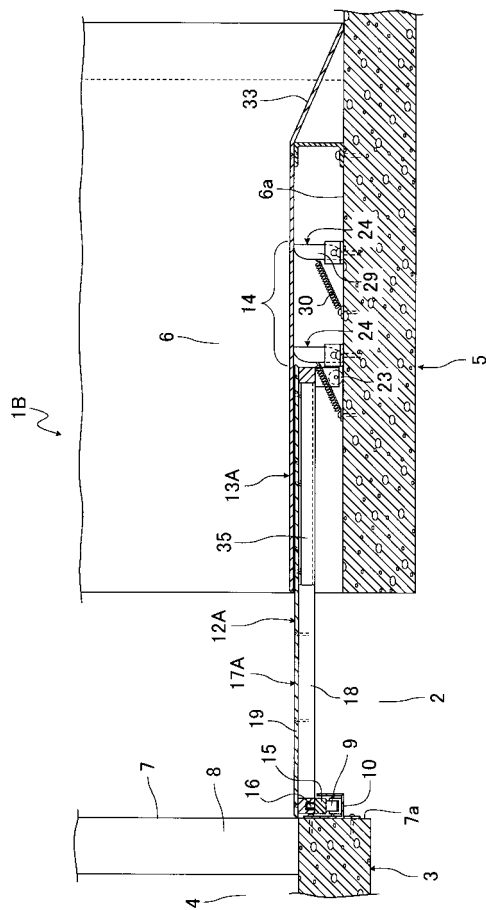
【 図 1 3 】



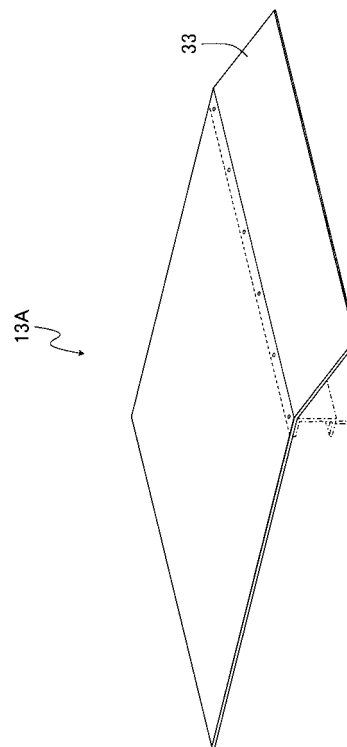
【 図 1 4 】



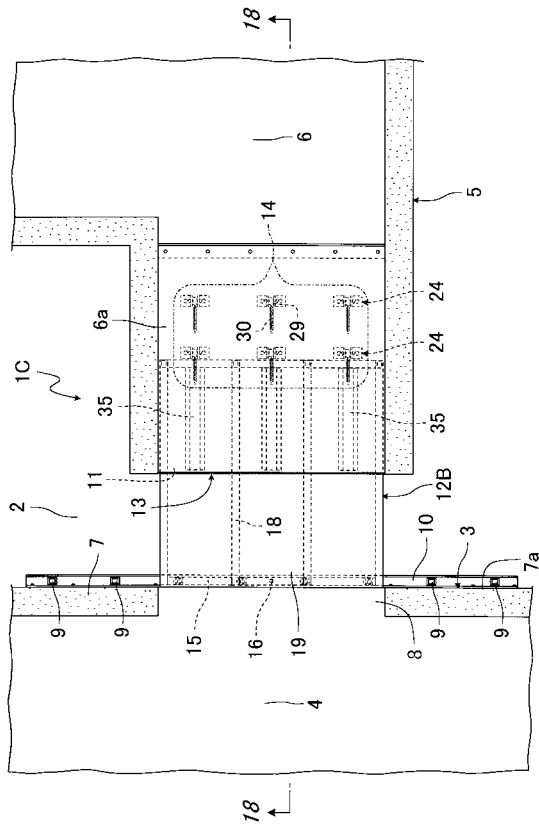
【 図 1 5 】



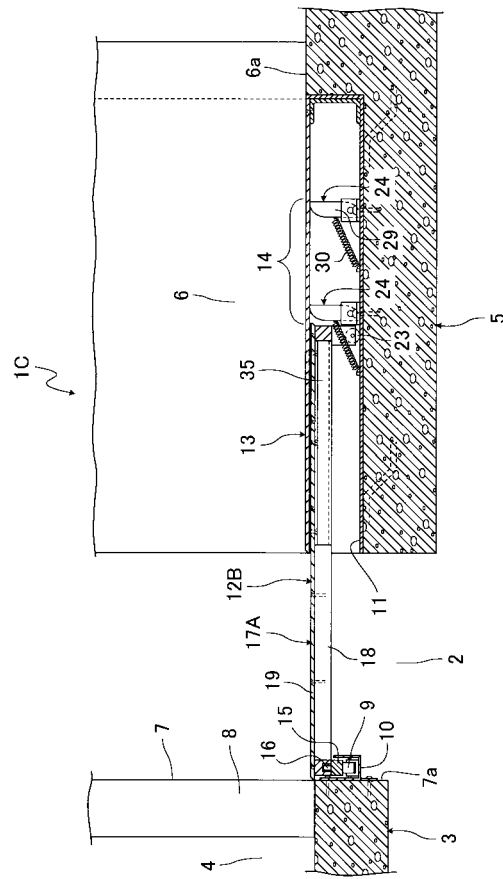
【 図 1 6 】



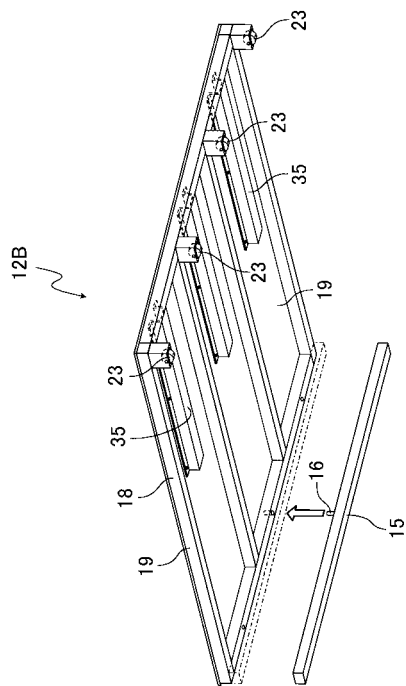
【図 17】



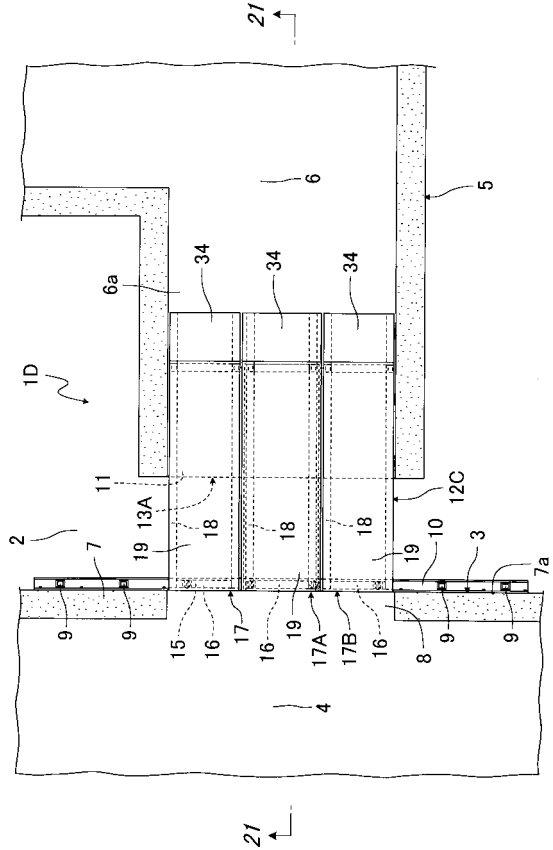
【図 18】



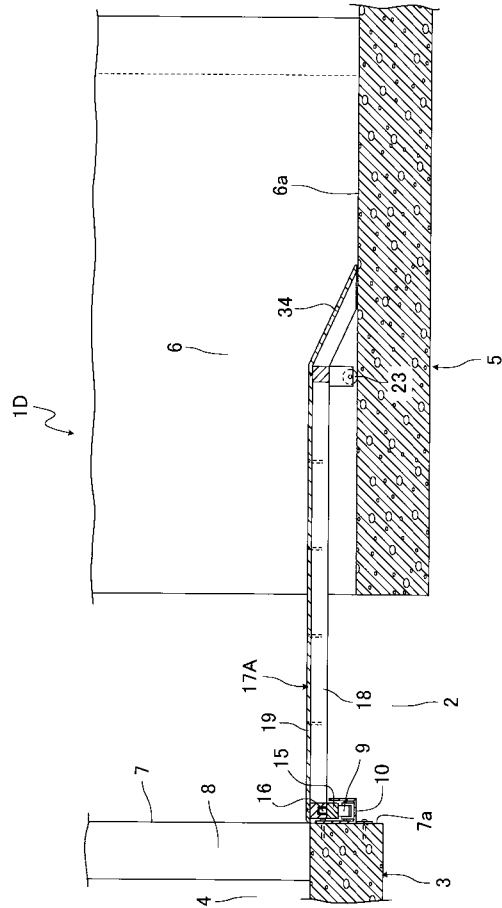
【図 19】



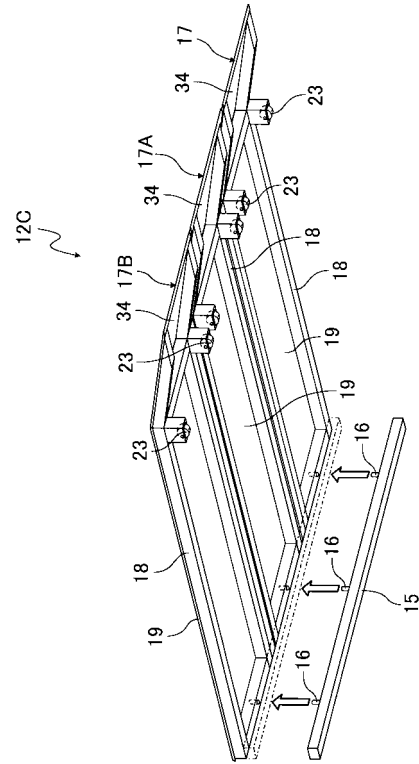
【図 20】



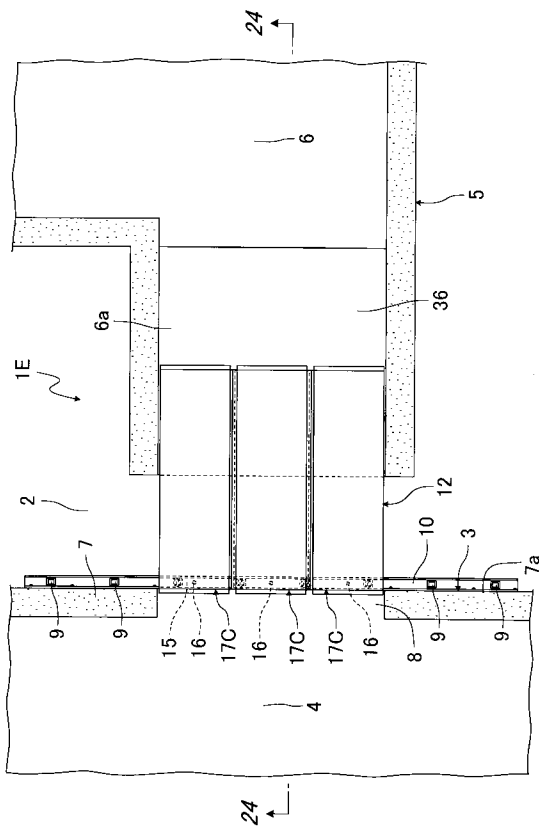
【図 2 1】



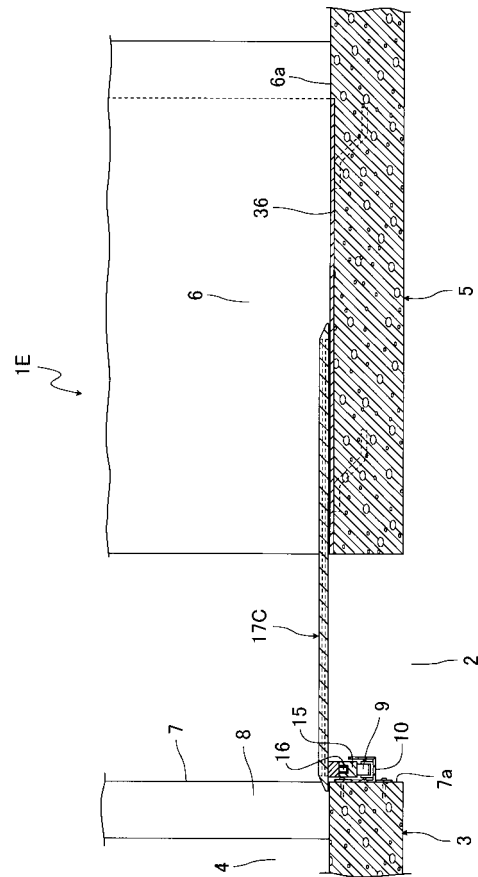
【図 2 2】



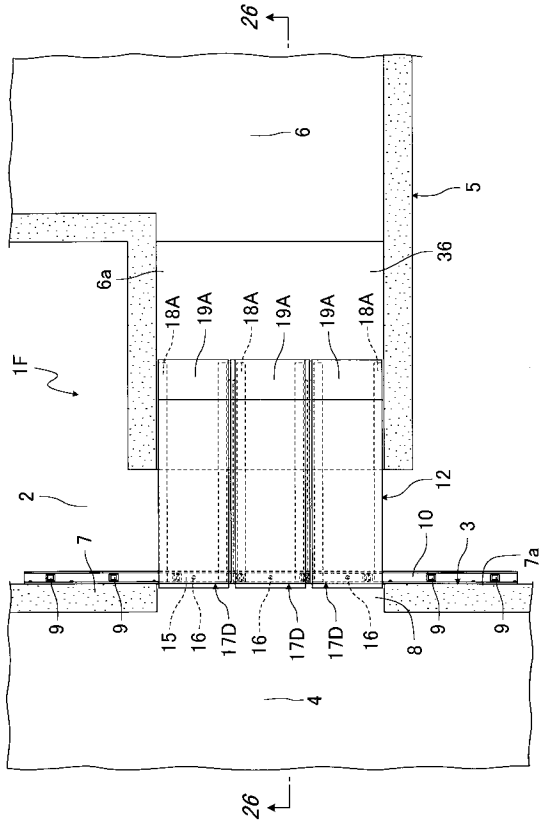
【図 2 3】



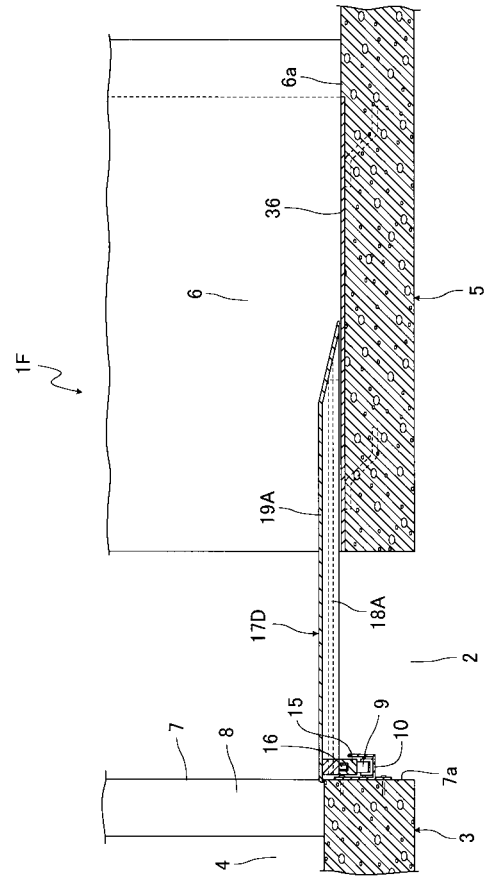
【図 2 4】



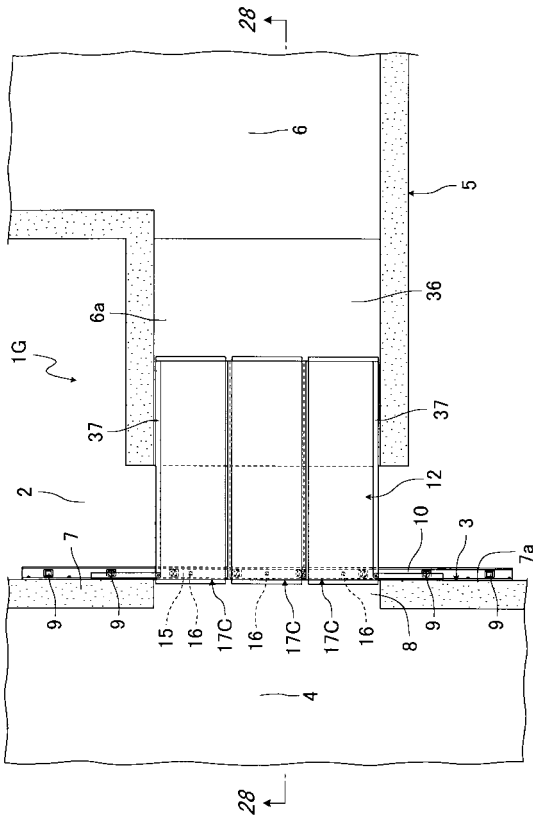
【図 25】



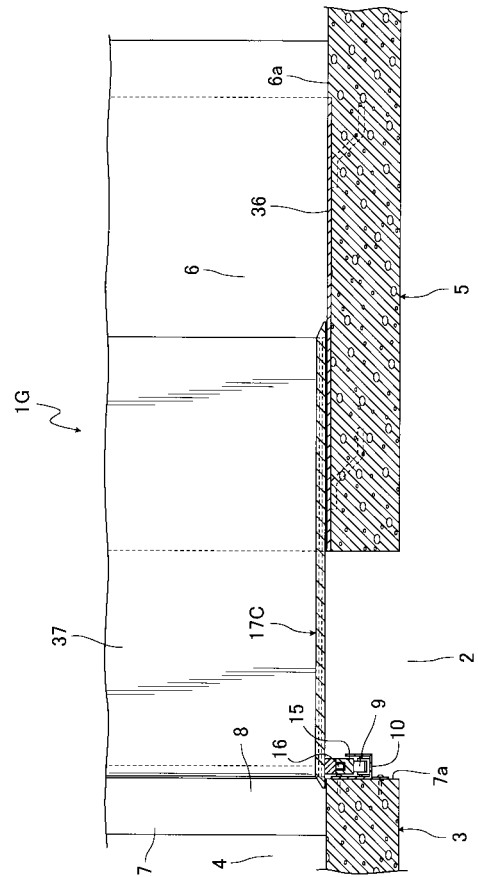
【図 26】



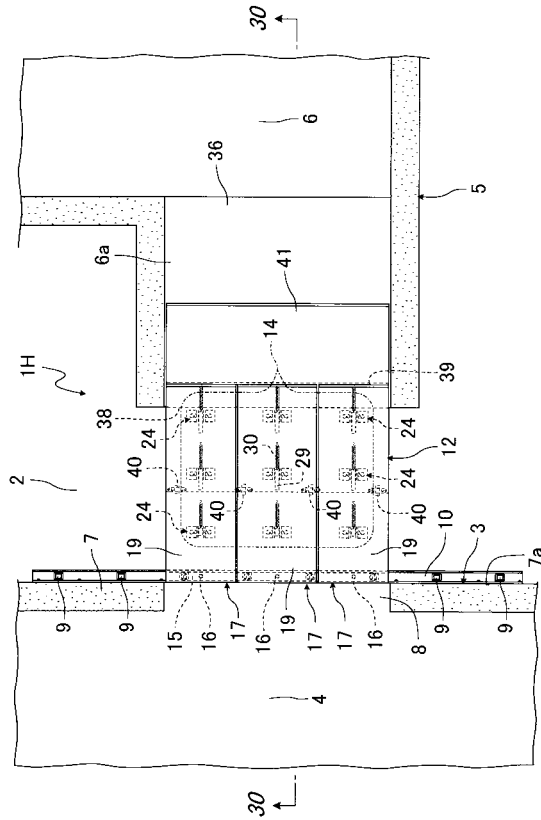
【図 27】



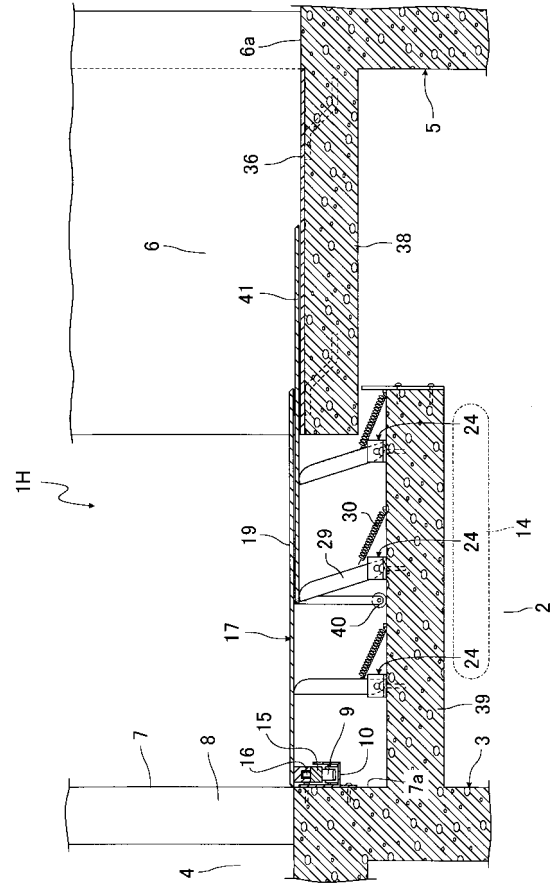
【図 28】



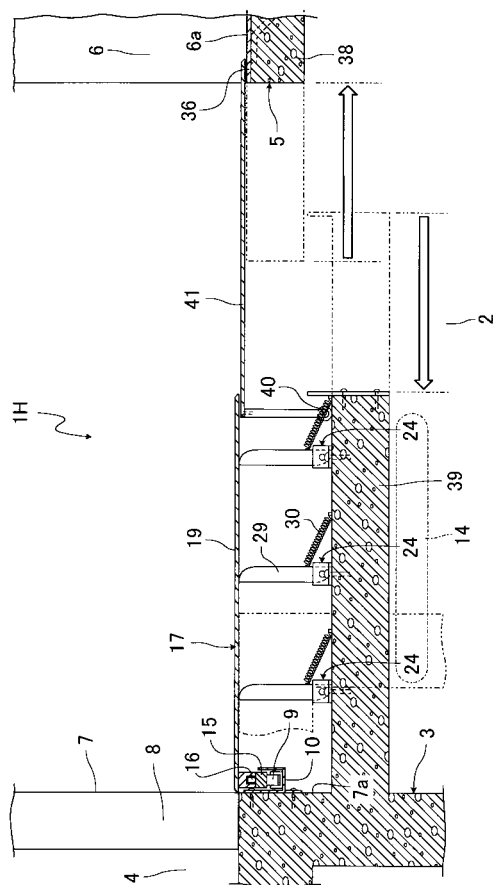
【 図 2 9 】



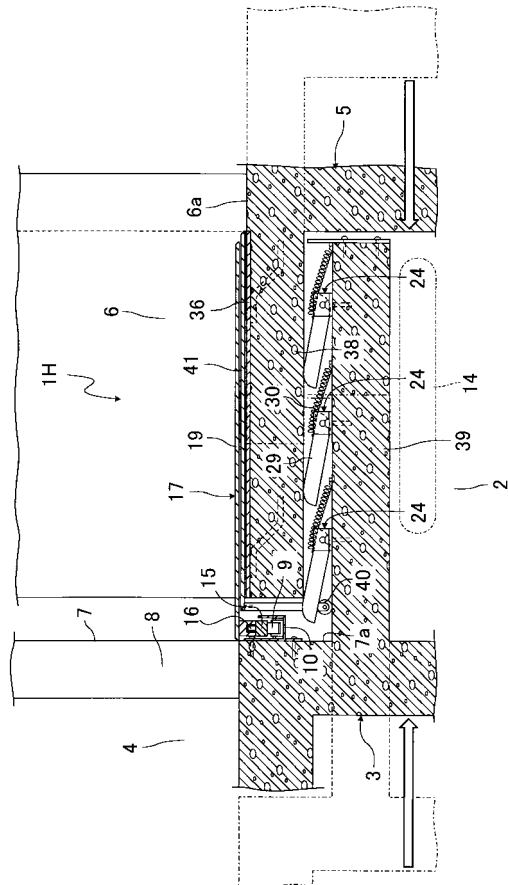
【 図 3 0 】



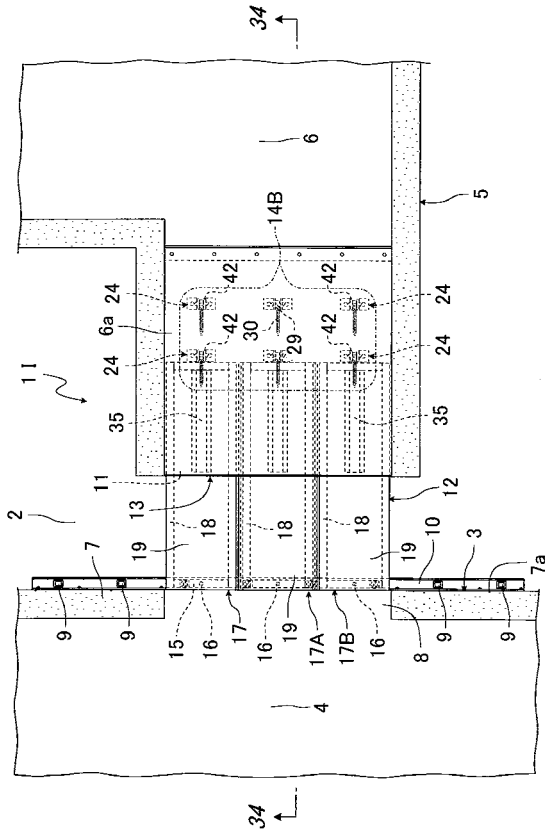
【 図 3 1 】



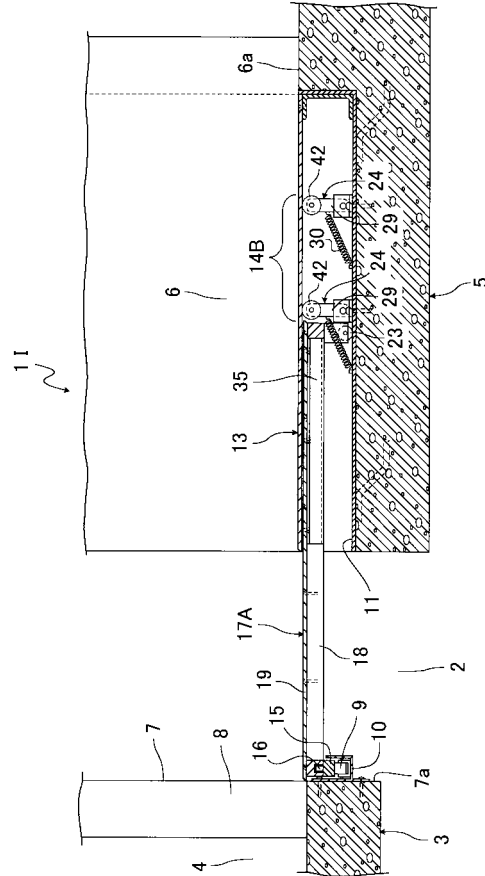
【 図 3 2 】



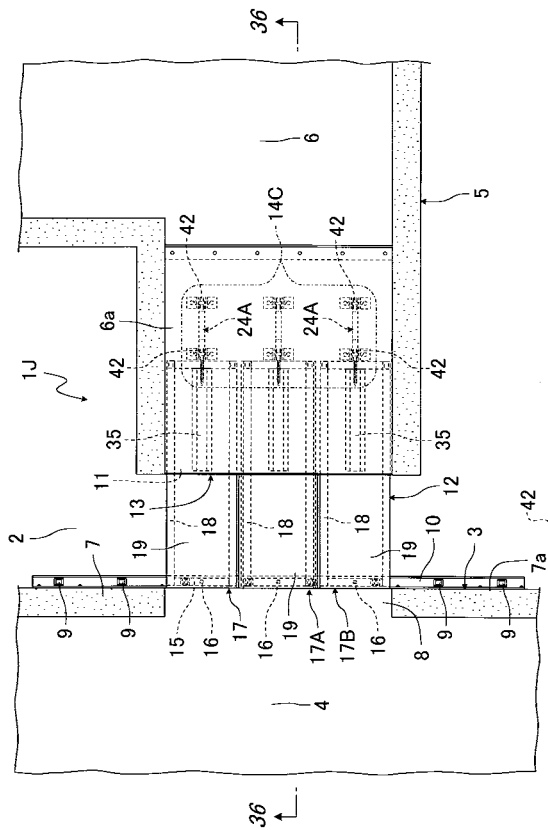
【図 3 3】



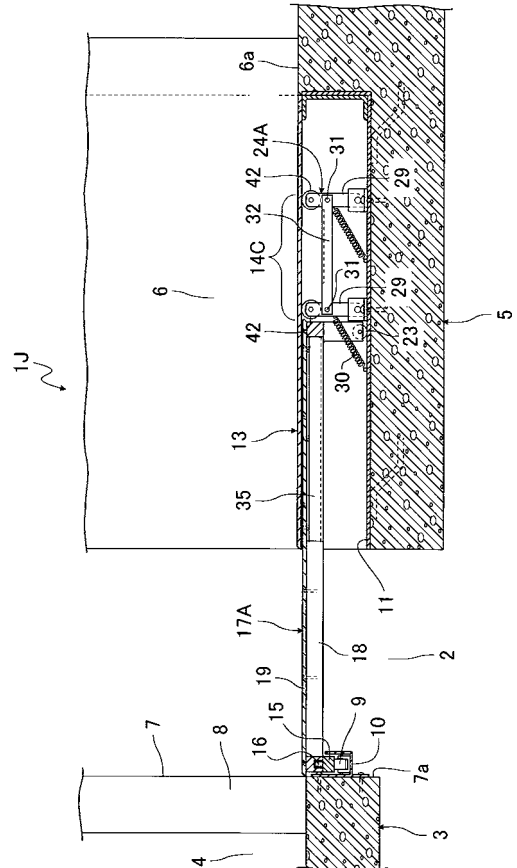
【図 3 4】



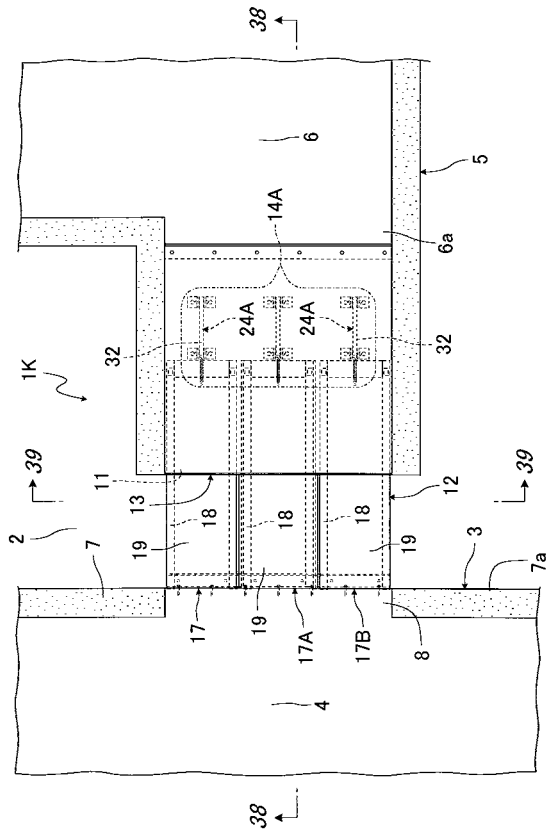
【図 3 5】



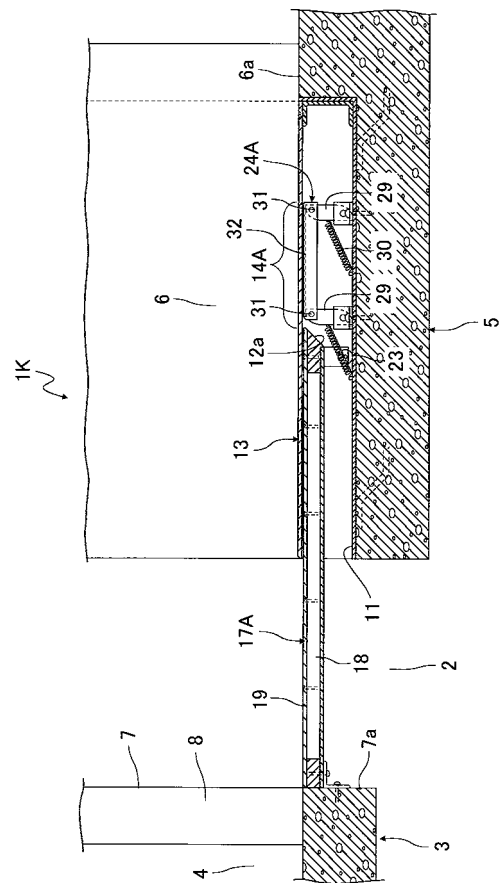
【図 3 6】



【 図 3 7 】



【 図 3 8 】



【 図 3 9 】

